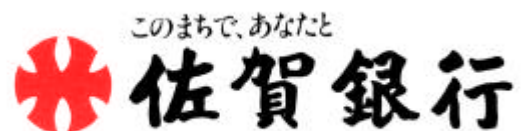


# さぎん 会社説明資料



平成18年11月

本編は平成18年6月に開催いたしました会社説明会の資料の一部について  
計数に関する部分を平成18年9月期の計数に置き換えたものです。



# 目次

---

	頁
1. 損益の状況	3
2. 資産・負債の状況	4
3. 不良債権比率	5
4. 不良債権の処理	6
5. 繰延税金資産	7
6. 自己資本比率	8
7. 有価証券の状況	9
8. 貸出金-貸出金月中平残の前年同月比増減状況	10
9. 地域別貸出金期中平残の前年同期比増減状況	11 ~ 12
10. 貸出金利収-貸出金月中利収の前年同月比増減状況	13
11. 役務取引等利益の状況	14

# 1. 損益の状況

単位：百万円

	番号	平成17年度中間期	平成18年度中間期	増 減	
業務粗利益	1	17,861	17,869	8	
資 金 利 益	2	15,319	15,167	152	資金利益の主な増 (+) 減 ( ) 要因
					<ul style="list-style-type: none"> <li>国内有価証券利息配当金の増加 + 512</li> <li>外国債券運調スプレッドの悪化 215</li> <li>預金利息の増加 221</li> <li>国内貸出金利収 252</li> </ul>
役 務 取 引 等 利 益	3	1,928	1,966	38	
特 定 取 引 利 益	4	189	334	145	
国債等債券損益 (5 勘定戻)	5	560	298	262	
その他のその他業務利益	6	137	101	238	<ul style="list-style-type: none"> <li>うち事業性貸出金利収の減少 24</li> <li>うち住宅・アパートローン利収の増加 + 59</li> <li>うち消費者ローン利収の減少 185</li> <li>うちその他の減少 99</li> </ul>
経 費	7	12,466	12,790	324	
人 件 費	8	6,197	6,395	198	パートタイマーの雇用及び使用形態の変更
物 件 費	9	5,316	5,447	131	効率化のためのシステム投資や業務拡大に伴う費用の増加
税 金	10	952	947	5	
業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	11	5,395	5,078	317	
クレジットコスト		( は取崩を表す )	( は取崩を表す )		
一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	12	1,562	924	638	} 一般・個別ともに取崩となっているため、損益計算書では取崩額が特別利益に計上されているが、この表では比較の便宜上この欄に取崩額を計上した
個 別 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	13	3,973	401	4,374	
貸 出 金 償 却 等	14	64	7	57	
( 小 計 )	15	(2,476)	( 1,318 )	( 3,794 )	
その他の臨時損益					
株 式 等 関 係 損 益 (3 勘定戻)	16	1,307	334	1,641	前期は株式売却益 + 1,607があった
そ の 他	17	287	403	690	
経常利益	18	3,939	6,465	2,526	} クレジットコストについての上記説明分だけ損益計算書と異なっている
特別損益	19	524	71	453	} 前期は減損損失 492があった
税引き前当期純利益	20	3,414	6,393	2,979	
法人税等	21	881	418	463	
法人税等調整額	22	1,026	2,135	1,109	
当期純利益	23	1,506	3,839	2,333	中間期では過去最高益を計上

## 2.資産・負債の状況

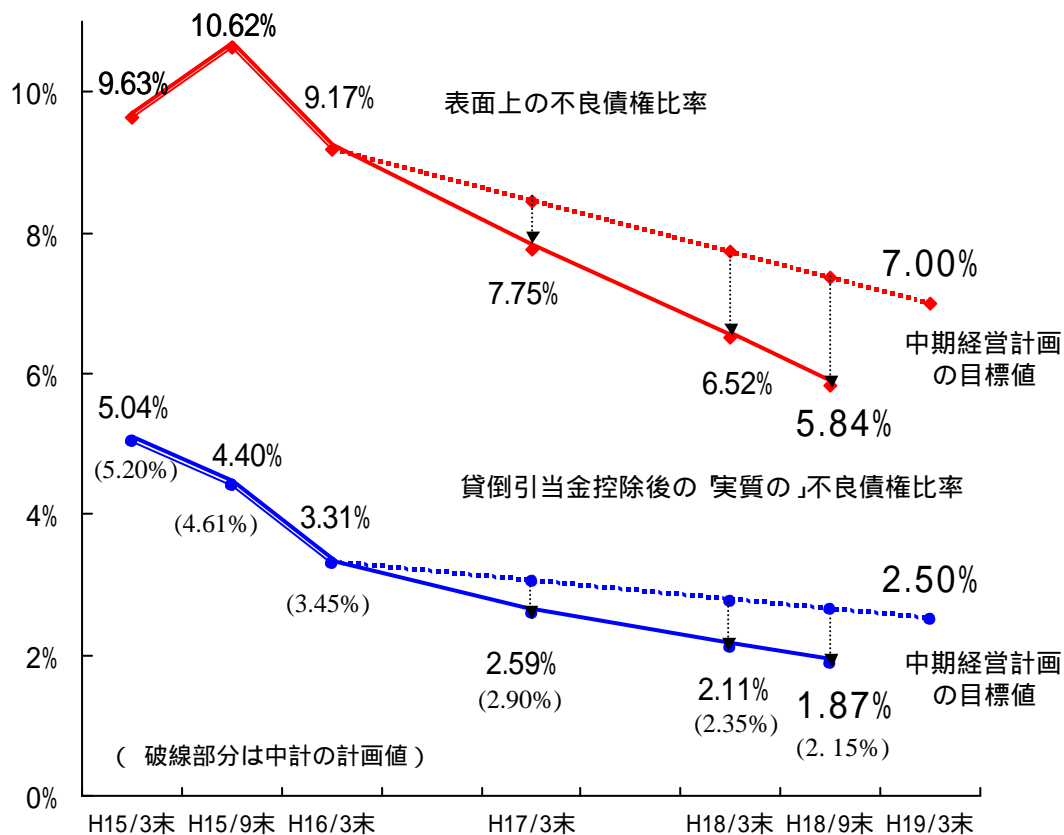
単位: 億円

科 目	番号	平成17年9月末	平成18年9月末	増 減		
資 産 の 部	現金預け金 コ ー ル マ ネ ー 金 買 入 金 取 引 債 権 買 入 金 取 引 債 権 特 定 取 引 債 権 金 銭 の 信 託	1	1,743	1,832	89	国内債券 61 株式 +72 その他証券 49 (うち外国証券 74) 有価証券の状況についてはP9を参照されたい バルク等不良債権処理による減 243 財務省等余資運用的貸出金の圧縮による減 200
	有 価 証 券	2	5,036	4,999	37	
	貸 出 金	3	12,092	12,094	2	
	外 国 為 替 そ の 他 資 産	4	617	604	13	
	有 形 固 定 資 産					
	無 形 固 定 資 産					
	支 払 承 諾 見 返					
繰 延 税 金 資 産	5	133	94	39		
貸 倒 引 当 金	6	643	507	136		
合 計	7	18,981	19,116	135		
負 債 の 部	預 譲 渡 性 預 金	8	17,364	17,477	113	別途預金以外の個人預り金融資産(公共債・投資信託・保険)の増加額 +499 は「資本の部」を表示
	コ ー ル マ ネ ー 金 借 外 国 為 替 一 外 国 他 為 替 債 賞 与 引 当 金 退 職 給 付 引 当 金 再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 負 債 支 払 承 諾	9	831	820	11	
	合 計	10	18,195	18,297	102	
純 資 産 の 部 合 計	11	785	819	34		
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	12	18,981	19,116	135		

億円未満は切り捨てて表示しております

# 3.不良債権比率

## 1.不良債権比率 (金融再生法開示債権比率) の推移



貸倒引当金控除後の不良債権比率を計算する場合、不良債権の額から個別貸倒引当金の額と要管理先に対する一般貸倒引当金の額を控除している。これは、要管理先の要管理債権のみに対する一般貸倒引当金の額が不明のためであるが、念のため、要管理先債権に対する一般貸倒引当金を「要管理債権の額 / 要管理先債権の額」で按分したものを「要管理債権に対する一般貸倒引当金」と見た場合の数値を ( )書きで表示した。

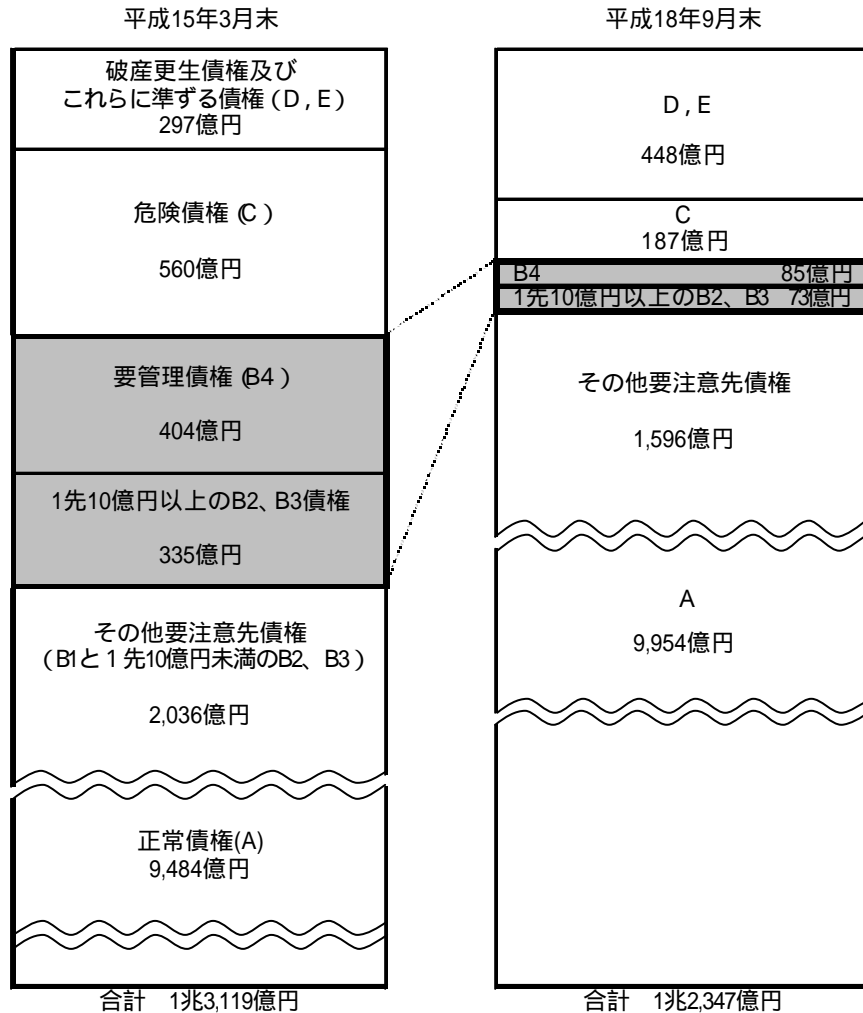
## 2.不良債権比率の地銀比較

銀行名	表面上の「不良債権比率 (貸倒引当金控除前)		実質の「不良債権比率 (貸倒引当金控除後)		
	比率	順位	比率	順位	
A行	2.84	3	1.49	1	
B行	4.19	19	1.64	2	
C行	3.11	7	1.66	3	
D行	2.85	4	1.73	4	
E行	3.65	10	1.99	5	
F行	3.48	8	2.03	6	
G行	2.68	2	2.07	7	
H行	3.60	9	2.08	8	
佐賀	H18/3末	6.52	42	2.11	9
	H18/9末	5.84	37 (注)	1.87	5 (注)
行	2.85	5	2.11	9	

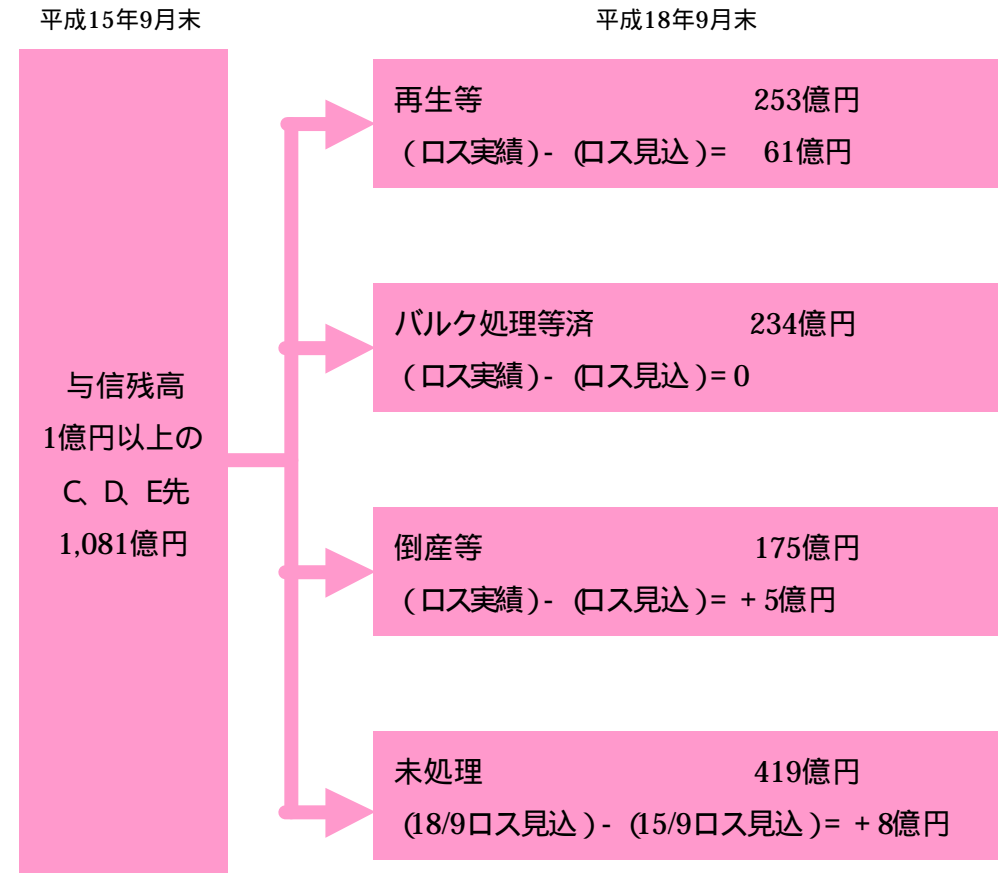
上場地銀58行を対象にH18/3末決算説明資料より作成。  
部分直接償却前。  
(注) 佐賀のH18/9末の順位は、仮にH18/3末の佐賀の比率がH18/9末の比率であったとした場合の順位。

# 4.不良債権の処理

## 1. 「灰色債権」もほとんどない



## 2. 両建方式での二次ロスも問題ない



「ロス見込」は平成15年9月末の保全不足額である。当時バルク等処理をしていた場合、買い叩きによって、ロスが見込より大きくなっていった可能性がある。

# 5.繰延税金資産

			自己資本比率 (Tier 比率)	Tier 中の 繰延税金資産 (A)の比率
H15/9末 (過去のピーク)	繰延税金資産 (B) 29,872百万円	繰延税金負債 2,583百万円	8.67% (5.29%)	56.25%
	繰延税金負債控除後 B/S計上繰延税金資産 (A) 27,288百万円			
				評価性引当額 (簿外の資産) 8,738百万円
H16/3末	繰延税金資産 (B) 26,782百万円	繰延税金負債 5,046百万円	8.87% (5.44%)	44.34%
	繰延税金負債控除後 B/S計上繰延税金資産 (A) 21,736百万円			
				評価性引当額 (簿外の資産) 8,974百万円
H17/3末	繰延税金資産 (B) 24,304百万円	繰延税金負債 8,989百万円	9.46% (5.98%)	28.95%
	繰延税金負債控除後 B/S計上繰延税金資産 (A) 15,314百万円			
				評価性引当額 (簿外の資産) 8,949百万円
H18/3末	繰延税金資産 (B) 19,793百万円	繰延税金負債 7,621百万円	9.48% (6.18%)	21.32%
	繰延税金負債控除後 B/S計上繰延税金資産 (A) 12,172百万円			
				評価性引当額 (簿外の資産) 10,159百万円
H18/9末	繰延税金資産 (B) 17,665百万円	繰延税金負債 8,262百万円	9.63% (6.40%)	15.55%
	繰延税金負債控除後 B/S計上繰延税金資産 (A) 9,403百万円			
				評価性引当額 (簿外の資産) 10,191百万円

## 6.自己資本比率

単位：億円

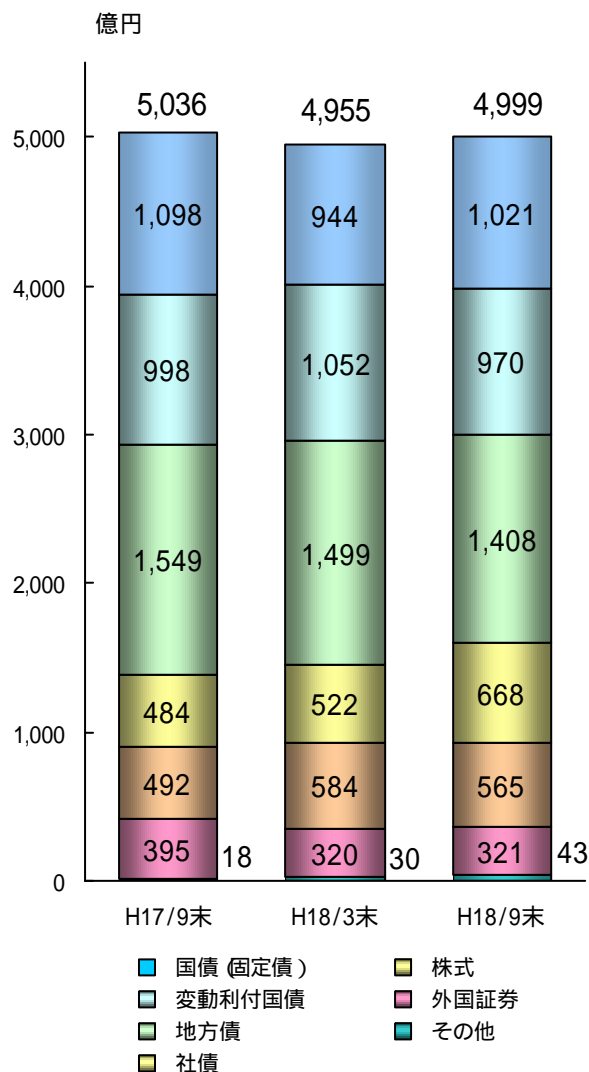
	国内基準			BIS基準		
	18年9月末	18年3月末比	18年3月末	18年9月末	18年3月末比	18年3月末
(1)自己資本比率	9.63 %	0.15 %	9.48 %	10.56 %	0.17 %	10.39 %
(2)Tier	604	34	570	569	53	516
(Tier 比率)	( 6.40 % )	( 0.22 % )	( 6.18 % )	( 5.87 % )	( 0.43 % )	( 5.44 % )
うち税効果相当額	176	21	197	176	21	197
(3)Tier	305	1	304	453	17	470
(イ)再評価差額金	71	0	71	71	0	71
(ロ)貸倒引当金	59	2	57	89	9	98
(ハ)劣後借入金	175	-	175	175	-	175
(ニ)有価証券含み益	-	-	-	117	7	124
(4)自己資本(2)+(3)	910	36	874	1,023	37	986
(5)リスクアセット	9,445	218	9,227	9,688	199	9,489
(6)繰延税金資産圧縮額	21 <sup>1</sup>	-	46 <sup>2</sup>			
(7)評価性引当額	101	0	101			

1：H18/3とH18/9の繰延税金資産額比較。  
 2：H17/3とH18/3の繰延税金資産額比較。  
 3：各計数は単体ベースの数値。  
 4：当行は国内基準採用行につきBIS基準は参考値。  
 5：億円未満は切り捨てて表示しております。



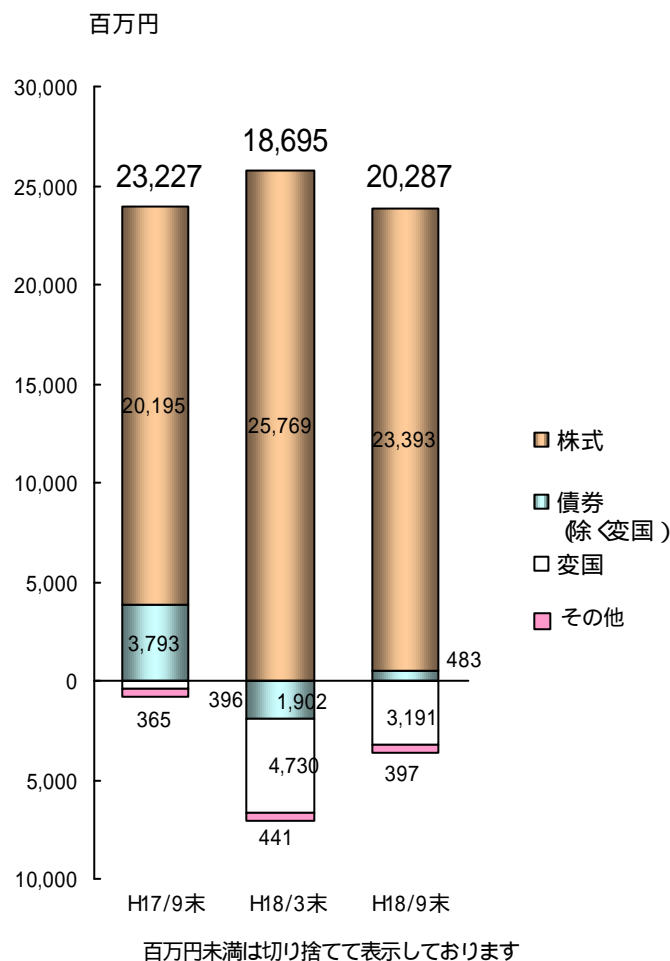
# 7. 有価証券の状況

## 1. 有価証券残高 (BS計上額)



億円未満は切り捨てて表示しております

## 2. 「その他有価証券」の評価損益



百万円未満は切り捨てて表示しております

## 3. 国内債券の残存期間別残高 (H18/9末)

単位: 億円

残存期間	残高
～ 1年以内	1,644
1年超 ～ 3年以内	807
3年超 ～ 5年以内	880
5年超 ～ 7年以内	357
7年超 ～ 10年以内	399
10年超 ～	8
<b>合計</b>	<b>4,096</b>

「1年以内」には変動利付債を含む  
億円未満は切り捨てて表示しております

### 平均残存期間

	H17/9末	H18/3末	H18/9末
平均残存期間	3.12年	3.19年	2.82年

変動利付国債は0.5年として算出

## 4. 国内債券ポートフォリオの金利感応度

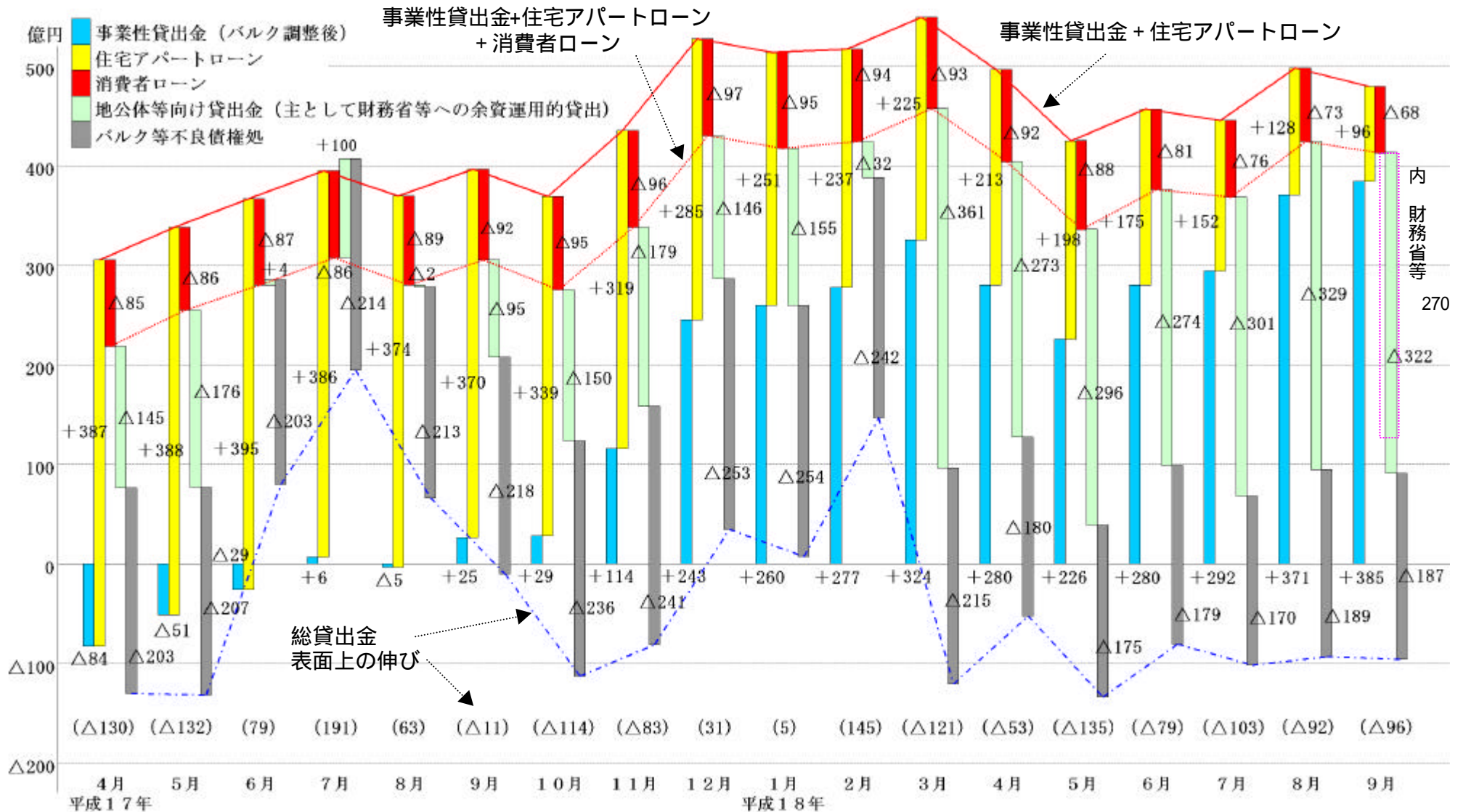
	H17/9末	H18/3末	H18/9末
10BPV	1,094	1,110	939
(参考) その時の5年国債金利	0.76%	1.29%	1.12%

10BPV:金利0.1%変動に伴う評価損益の変動額

単位: 百万円

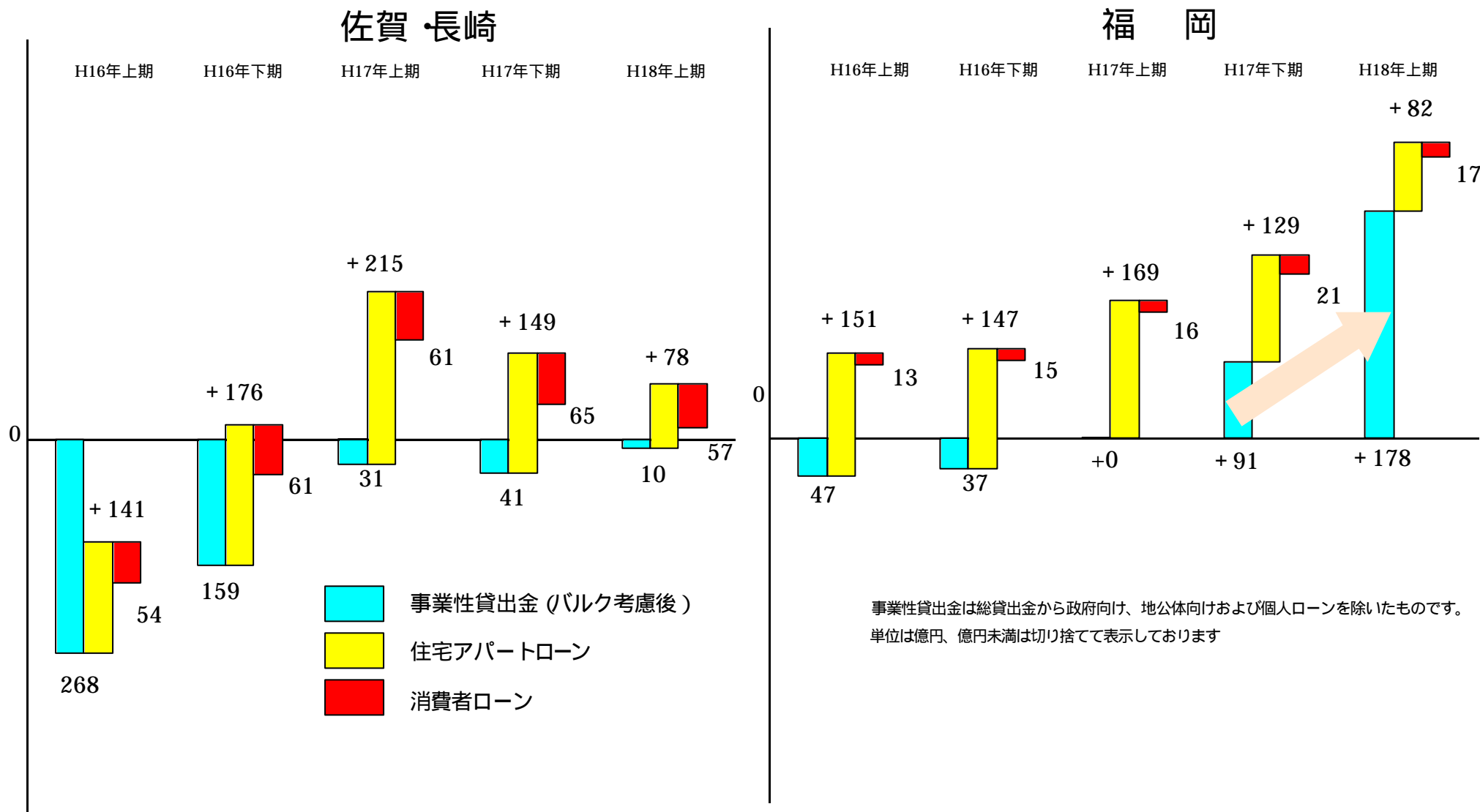
# 8.貸出金 - 貸出金月中平残の前年同月比増減状況

▶ バルク等考慮後の「実質」(赤折線又は赤点線折線)では貸出金は伸びている



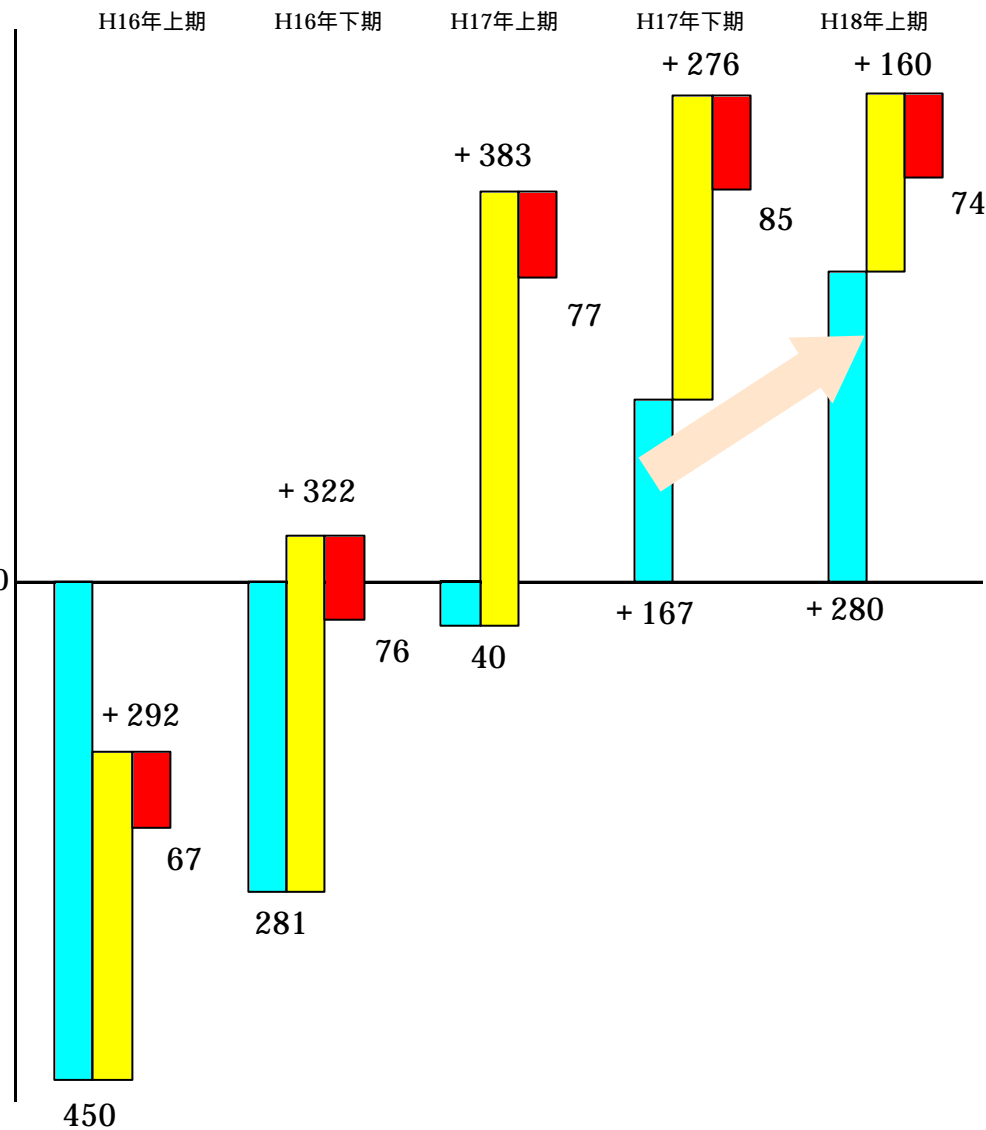
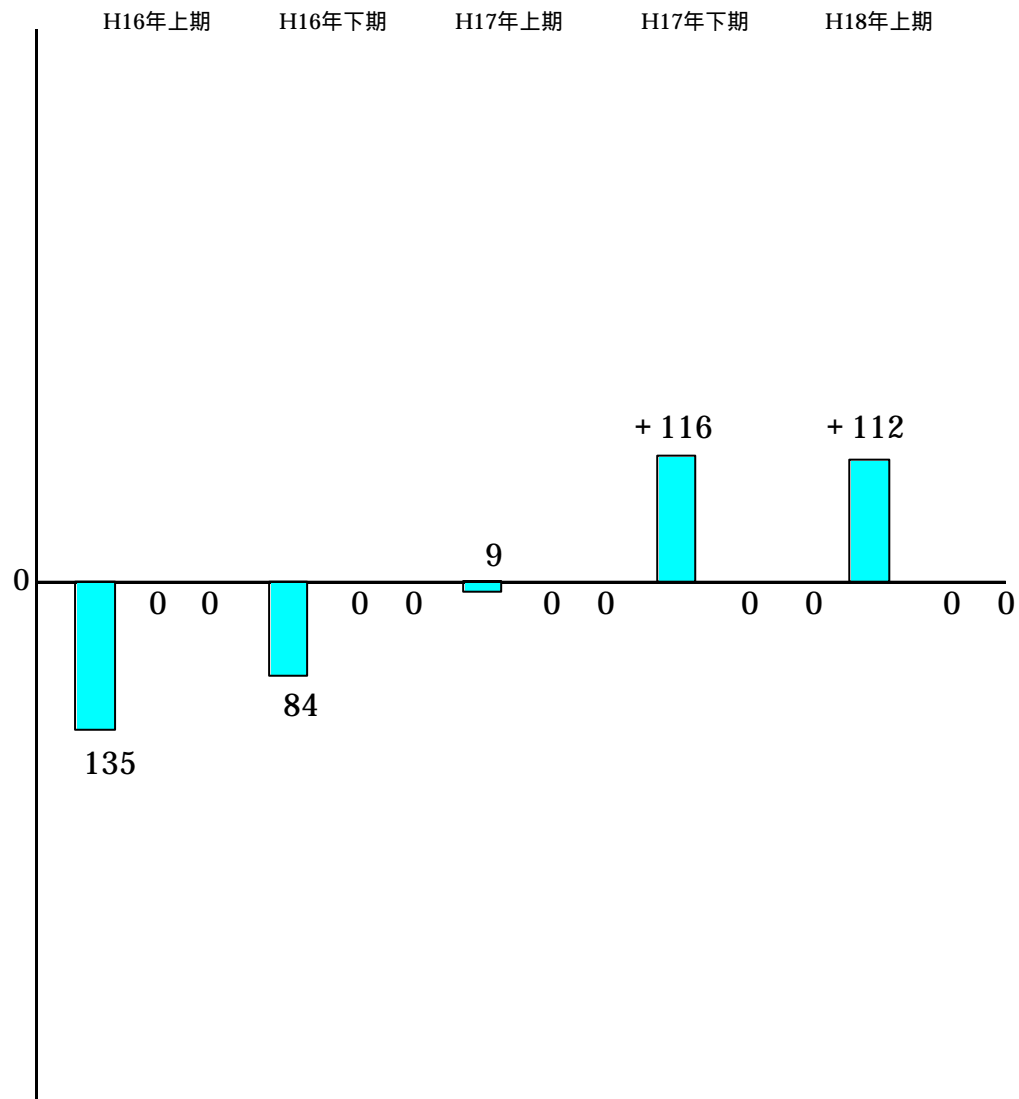
# 9.地域別貸出金期中平残の前年同期比増減状況

## ▶ 第8表 (前頁) の地域別・・・地元で増加



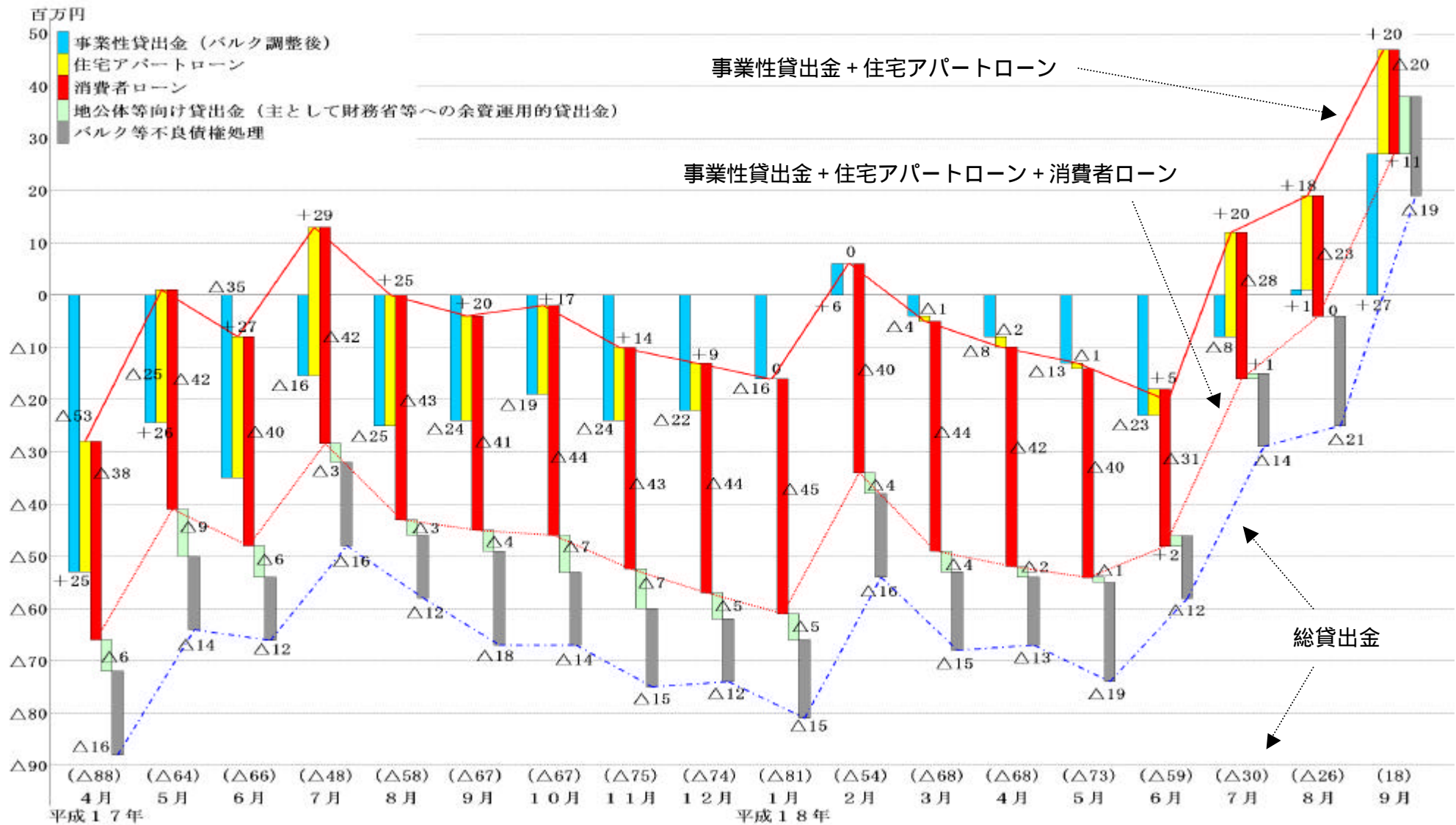
# 東京

# 全体



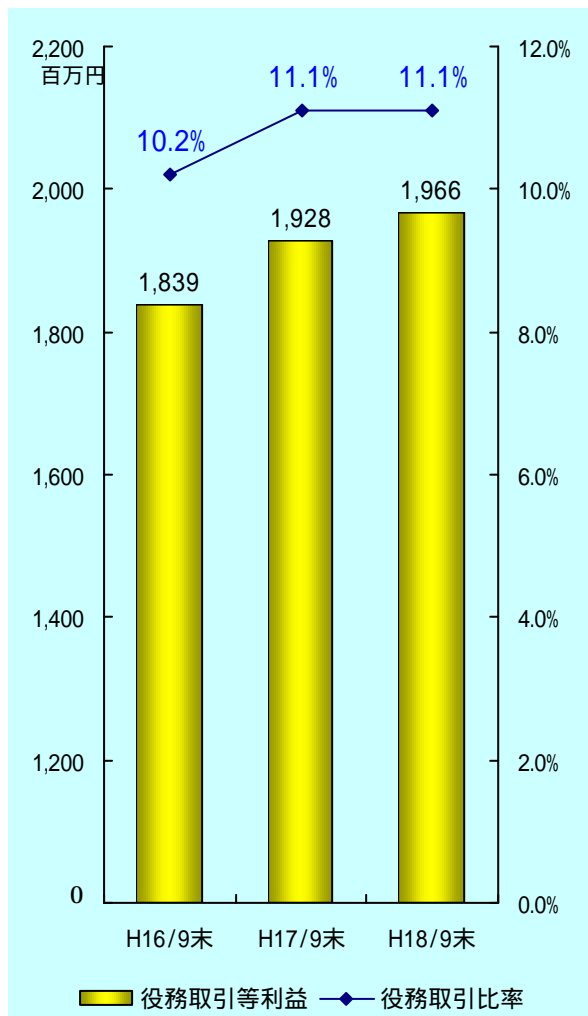
# 10.貸出金利収 - 貸出金月中利収の前年同月比増減状況

▶ 消費者ローンの利収減が足を引っ張っている (改善傾向にはある)



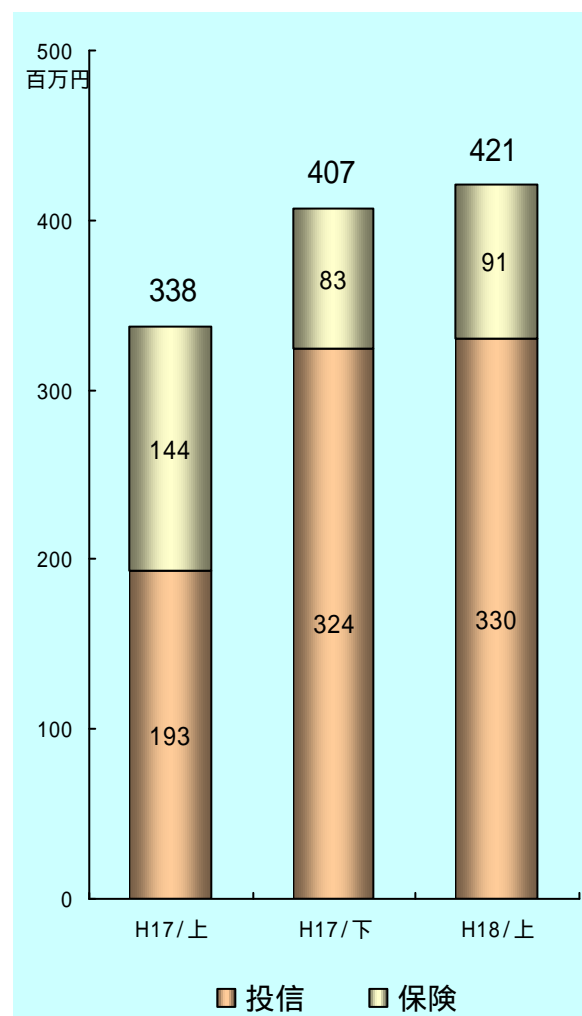
# 11. 役務取引等利益の状況

## 1. 役務取引等利益の推移



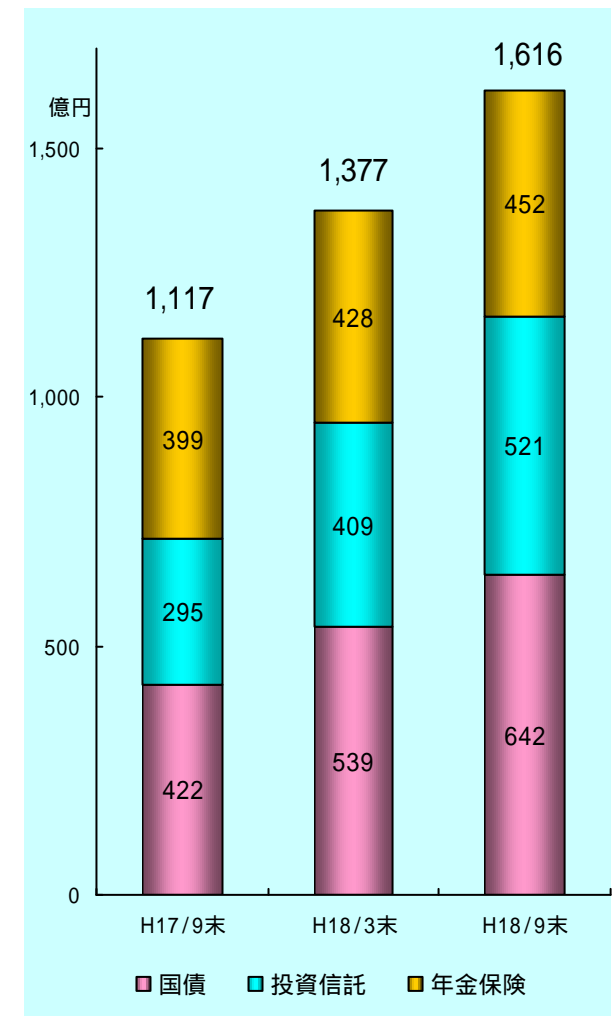
役務取引比率 = 役務取引等利益 / コア業務粗利益  
 億円未満は切り捨てて表示しております

## 2. 投信・年金保険関係手数料



百万円未満は切り捨てて表示しております

## 3. 個人金融預り資産残高の推移



億円未満は切り捨てて表示しております

【お問い合わせ先】

株式会社 佐賀銀行  
総合企画部  
担当 森田、山崎

TEL 0952-25-4555

本資料は当行の財務状況に関する情報の提供を目的としたものであり、取引の勧誘を目的としたものではありません。